

ほほえみ

保存版

発行：荇田南地区社会福祉協議会
2020年秋号 (VOL. 29)



「ささげねのみち」 江幡正之 (メゾン桜ヶ丘)

ささげねのみち

荇田南地区社協だより

会長 藤巻孝司

△先日、東急市が尾駅の改札をスイカで入ったら赤ランプが点灯、ゲートが閉じたので、駅員に聞いたら、六か月以上使っていないとロックがかかるとのことでした。六か月以上も自粛生活している証を思いがけないところで見つけたようでした。

地区社協活動は二月から五月までは休止しましたが、六月からは定例会議／福祉を語る会／テーマ別の検討会を再開しています。集会所での会議は、マスク着用、検温、手指の消毒、席の間隔確保、ドアの開放などを施して開催しています。マスク着用の会議は、マスク越しの音が聞きづらくさらに表情が相手に伝わらないなど、会話がスムーズにいかないように感じます。マスク越しのコミュニケーションの勉強がもつ必要かと思えます。コロナ禍における荇田南地区社協の活動は、次の方針で進めてまいります。

① 今年二月中止になった地域福祉フォーラム「いまだの子育てで大切なこと」(講師は大豆生田啓友「おまめうだ ひろとも」氏)の開催を計画しています。ただし、二密となる集合開催を避け、オンライン講演に変更することを考えています。パソコンやスマートフォンから参加できます。来年二月開催予定で具体的な方法を調査・検討中ですが、内容が決まり次第お知らせ致します。

② 恒例のシニアサロンは中止としますが、規模を縮小したミニシニアサロンを検討していきます。内容は身体機能の低下／認知症の予防などの簡単な講習と体操、お土産で会場を数か所に分散し、一時間程度の開催です。コロナ感染状況などを見ながら開催の可否を判断したいと思えます。

③ 自粛生活が続く、話したい、聞いてほしい、取り残されたくないという声が聞こえてきます。「コロナ禍でも繋がっている」という実感が持てるような見守り方が出来ればと思っております。

□都筑区認知症フォーラムの案内
都筑区ホームページにて、「新しい生活様式の中でも、認知症になってからも暮らしやすいまちづくり」(認知症介護研究・研修東京センター副センター長 永田久美子氏)による講演と都筑区の取り組みを動画配信します。公開日は九月一八日から一二月二八日まで。

□コロナ禍での認知症の方との接し方など、新しい生活での認知症サポートを新しい方法でお伝えします。是非ご覧ください。

問合せ先
都筑区保健センター
高齢・障害支援課
高齢支援担当
電話九四八二一三〇六



★ 新型コロナウイルス感染症検査対応診療所一覧 ★
都筑区医師会の診療所において、新型コロナウイルス感染症の検査に対応しているクリニックは以下の通りです。検査を受ける場合は、各クリニックにお問い合わせの上、来院してください。また、下記以外のクリニックでも対応している場合があります。まずは、かかりつけの医療機関にお問い合わせ下さい。

診療所名	PCR (だ液)	PCR (咽頭)	抗原
小川メディカルクリニック 045-943-6566	○	×	×
北山田クリニック 045-719-7620	○	×	○
小林クリニック 045-592-0041	○	×	×
すみれが丘クリニック 045-592-5050	○	×	×
ときえだ小児科クリニック 045-595-4150	○	×	×
深澤りつクリニック 045-914-6330	○	×	×

○:対応可 ×:対応不可 2020年7月14日現在 都筑区医師会

編集後記

◆コロナ禍の中で、社協等の打ち合わせもオンラインでの会議が増えました。今回のほほえみ編集会議もzoomで行いました。参加者も試行錯誤を繰り返し練習しています。これからは、オンラインでの打ち合わせが増えるのかな???? (小)

◆初めてのオンライン編集会議！お陰で zoom デビューできました(^)(山)

発行責任者：荇田南地区社会福祉協議会会長 藤巻孝司
<http://tuzuki-tikushakyo.sblo.jp/category/937703-1.html>
エッセイ、メッセージ、写真、イラスト、広告等募集中です。
◆投稿切：11月21日(土) ◆電話/FAX:045-943-1681(藤巻)
◆問合せ先:090-2208-7352(小泉) ◆メールアドレス:fwgk7412@gmail.com
※エッセイ、メッセージ等は紙上匿名でも大丈夫です。(秘密厳守します!) 広報担当責任者:小泉雅二(大丸)



荇田南小学校「絵本とおはなしの会」

『ありがたいこつてす!』 マーゴット・ツマック作
読んでいる本をご紹介します。 たなべしげお訳 児童館

ユダヤの民話から、ツマックが再話して絵をつけた本です。昔ある小さな村に、貧しい男が母親とおかみさんと六人の子ども達と、一部屋しかない小さな家に住んでいました。毎日、狭い家では、言い争いやけんかばかり、そこで、ラビ(ユダヤの法律博士)に相談に行きます。男の話聞いたラビはしばらく考えて、「動物を飼ってはいないか?」と聞きます。男は「へえ、ひなどりとおんどりに、がちやうも飼っています。」との答え。そこで、ラビの教えは「家に帰って、ひなどりと、おんどりと、がちやうの家を家にいれなされ。」

男は素直に教えのとおり家に入れます。一週間も過ぎると、暮らしては前より一層ひどくなり、また、ラビに相談にいきます。すると、今度は、「ヤギを飼っておらんかね?」 男は「へい、老いぼれヤギが一匹。」「でかした!では家に帰って、ヤギを家にいれなされ。」それを聞いた男は、冗談はやめてくれと叫びますが、ラビは厳しく、言ったとおりにするように言います。とぼとぼと家に帰り、ヤギを家にいれます。またまた一週間が過ぎると、暮らしてはもっともつと悲惨になり、またラビに知恵を借り行くのです。男の話聞いたラビはしばらく考えて言います。「牛は飼っておらんかね?」

男は「へい、一頭おります。」「では、牛を中にいれなされ。」「そんなむちゃやな!」と言ったものの男は、ラビに従い牛を家に入れました。なんとという家の状態!...

「のやりとりのひとつひとつの絵が、ほんとに生き生きしていて、家族や動物たちでひしめいてる家の喧騒まで聞こえてくるようです。そこでお話は・・・男はたまらず、またラビに知恵を借りに行くのですが、今度は「動物たちを外に出さなされ。」「と言ってもらいます。喜んで帰り動物たちを外に出し、その夜はぐっすり眠ることができました。家族のやすらかな寝顔。次の日、男はラビのところに走って行って、「おまえさまは、おれのくらしをらくくしてくださった。...ありがたいこつてす!」



認知症&予防カフェ
ほほえみ交流カフェ

開催予定日
11月10日(火)・12月1日(火)・1月5日(火)

場所:ライブタウンセンター南集会場(大丸11)
時間:各回とも13:30~15:00
マスク着用の上お集まりください。
問合せ 小泉 まで
電話:090-2208-7352

任意成年後見手続き

行政書士 青木総合事務所

登録番号 83090748

〒225-0014 青葉区荇田西五丁目17番地22
TEL 045-912-1724